

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	安全でおいしい水の安定供給	コード	作成者	役職	上下水道課長
		04-05-14		氏名	藤森 亨
			電話	0869-66-9792	
			このシート作成に要した時間	8.0 時間	

この施策の アピール ポイント	豊富な水源から清浄でおいしい水を安定してお届けしています
-----------------------	------------------------------

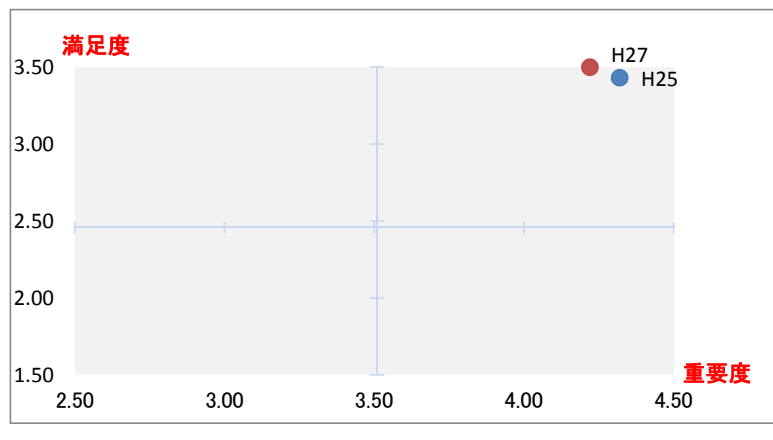
この施策の 平成26年度の 施政方針	市民サービスの向上をめざしており、平成26年度からは、民間企業へ委託したお客様センターで料金収納等の業務を開始いたします。また、施設整備の面では、大規模地震に備え、老朽化等による更新が必要な施設の耐震化を進めてまいります。
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	04 土台となる政策「安全・安心」
	基本計画 (中項目)	05 安全に暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	水道水は、備前市民の日常生活、地域の産業経済活動において必要不可欠なものです。安全で安定した水を供給するために、厳格な水質管理、施設の計画的な更新、広範囲な水道網の適切な維持管理を行い、生活環境の改善や公衆衛生の向上を図っています。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	給水区域内の人口減少や利用者の節水意識の浸透などから水需要は減少し、給水収益も減少しております。その中で、老朽化した多くの管路や施設の更新と整備をすすめていかなければなりません。あわせて水質管理体制の強化など、質の向上に取り組むことで、付加価値の高い市民サービスを実現していくことが求められています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 運営基盤の強化 (専門知識・技術の継承、外部委託の推進) 安心・快適な給水の確保 (水源水質の保護・保全・監視、水質管理体制の強化) 安定給水・災害対策の充実 (老朽管路の計画的な更新、基幹管路・施設や配水池の耐震化) サービス水準の向上 (お客様が便利で利用しやすい窓口の実現) 環境対策の強化 (有収率の向上による省エネルギー、資源の有効活用) 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		4.32	4.22
満足度 (%)		3.43	3.50



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民意識調査の結果、重要度、満足度はともに平均値以上で、維持領域にあります。市民の方から、水源が豊かで安価であるとのコメントもあり、引き続き、「水道は重要なライフラインである」との認識のもとに、きれいで安全な水道水を安定供給できるように努めます。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H24	H25	H26			H27	H28
成果指標 年間有収率	目標	%	92.0	92.0	92.0	年間の料金徴収の対象となった量 (有収水量) の配水量に対する割合 (%) 【(有収水量÷配水量)×100】	H27	92.0
	実績	%	86.0	84.2	84.5		H28	92.0
	達成率	%	93.5	91.5	91.8		H34	95.0
	ベンチマーク		85.4	85.5			水道事業経営指標 (類似団体平均)	—
参考指標① 配水池の耐震化率	目標	%	50.0	50.0	50.0	耐震化した配水池容量の全配水池容量に対する割合 (%) 【(耐震化した配水池容量÷全配水池容量)×100】	H27	50.0
	実績	%	34.6	34.6	37.1		H28	50.0
	達成率	%	69.2	69.2	74.2		H34	60.0
	ベンチマーク		44.5	47.1			全国平均 (厚生労働省調査)	—
参考指標② 基幹管路の耐震化率	目標	%	25.0	25.0	25.0	基幹管路延長に対する耐震性を有する管路延長の割合 (%) 【(耐震性のある管路延長÷基幹管路延長)×100】	H27	25.0
	実績	%	24.1	24.5	27.7		H28	25.0
	達成率	%	96.4	98.0	110.8		H34	50.0
	ベンチマーク		33.5	34.8			全国平均 (厚生労働省調査)	—
参考指標③ 料金納付の口座振替利用率	目標	%	89.0	89.0	89.0	料金納付者に占める口座振替利用者の割合 (%) 【(口座振替の利用者÷料金納付者)×100】	H27	89.0
	実績	%	88.7	89.0	91.0		H28	89.0
	達成率	%	99.7	100.0	102.2		H34	90.0
	ベンチマーク		—	—			—	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
まち営業課	企業誘致事業、企業立地促進事業	企業誘致により水需要の拡大が図れます。
上下水道課	水道事業、下水道事業	水道料金、下水道使用料合わせて徴収することにより事務の効率化と徴収率の向上が図れます。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	年間有収率は、管路の計画的な更新、耐震化及び水道網の適切な維持管理を行うことで、無効水量が減少し、向上します。よって、無効水量に伴う動力費などが低減でき、効率的な運営につながります。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	水道はライフラインとして重要なものであり、水質管理、施設の計画的な更新・耐震化、有収率の向上など事業構成は妥当なものである。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	管路の更新、漏水修理を行っているが、無効水量の発生は、給水量の増減と関係なく生じており、年々給水量が減少してきていることで有収率が低下している。企業誘致等で、給水需要の減少を少しでも緩やかにし、老朽管の更新をすすめていく必要がある。	
進行年度 (H27年度) の取組内容 (課題解決状況)		策定している管路更新計画のうち重要幹線の平成27年度更新予定箇所の試験掘、再調査を行い、老朽化を確認しながら、更新時期を見極める。維持管理の困難な海底送水管を減らすため、備前日生大橋の完成に合わせ、橋梁内に配管を行う。坂根浄水場のクリプトスポリジウム対策について、対応できるよう水道事業の認可変更を行う。	
翌年度 (H28年度) の取組目標		維持管理費の削減のため、新しく建設した坂根配水池を供用開始し、あわせて、二ツ塚、茶臼山配水池の廃止を行う。施設の延命化のため、老朽化した機械電気の更新、長寿命化を進める。前年度に引き続き、平成28年度更新計画にある管路の重要幹線の調査を行い、更新、長寿命化の判断を行う。	
二次評価者コメント		安定供給のための更新事業は不可欠であり、今後人口減少を見据えた適正規模での改修を検討されたい。経営については、更なる効率化に向けて努力していただきたい。	基本施策への貢献度 4 やや高い

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位：千円, 人)										施策への 貢献度	
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01	水源管理事業	水源施設維持管理事業	単市	58,168	14,765	1.51	61,707	16,128	1.71	91,009	14,965	1.64	145,293	☆☆☆
		水源保護審議会運営業務	内部管理	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	☆☆
		岡山県広域水道企業団運営経費等負担金	内部管理	9,833	0	0.00	586	0	0.00	586	0	0.00	586	☆☆☆
		吉井川坂根堰管理負担金	内部管理	3,806	0	0.00	3,815	0	0.00	3,242	0	0.00	3,710	☆☆
		吉井川坂根堰利水者協議会会費	内部管理	667	0	0.00	289	0	0.00	10	0	0.00	20	☆☆
		吉井川下流水利用連絡協議会会費	内部管理	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	☆☆
		八塔寺川ダム管理費等負担金	内部管理	20	0	0.00	8,763	0	0.00	9,188	0	0.00	10,951	☆
02	上水道管理運営事業	水道施設(給水)維持管理運営事業	単市				21,966	14,467	1.90	28,786	15,499	2.15	28,988	☆☆☆☆
		水道施設(配水)維持管理運営事業	単市	124,435	51,200	6.07	98,125	17,459	2.07	72,862	16,378	1.87	66,513	☆☆☆☆
		水道施設建設事業	単市	298,221	18,618	2.68	13,039	14,138	1.99	523,363	1,640	0.22	0	☆☆☆☆
		水道施設改良事業	単市	0	106	0.01	360,889	14,554	1.90	256,738	20,494	2.82	411,697	☆☆☆☆
		水道事業審議会運営事務	内部管理	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	☆☆
		水道事業計画事業	内部管理	0	636	0.06	0	106	0.01	0	0	0.00	0	☆☆
		企業債管理事業	内部管理	0	0	0.00	0	410	0.04	0	466	0.05	0	* 法定事務
		日本水道協会会費	内部管理	157	0	0.00	157	0	0.00	155	62	0.01	151	☆
		日本水道協会中国四国地方支部会費	内部管理	63	0	0.00	63	0	0.00	63	0	0.00	61	☆
日本水道協会岡山県支部会費	内部管理	25	0	0.00	25	0	0.00	25	0	0.00	25	☆☆		
03	水質管理事業	水質管理事業	単市	6,282	3,093	0.31	6,731	1,686	0.18	5,720	2,360	0.24	5,149	☆☆☆☆
04	水道料金賦課徴収事業	水道料金賦課徴収事業	単市	29,030	31,495	4.07	29,759	30,327	3.61	52,439	9,380	1.07	43,749	☆☆☆☆
05	簡易水道事業管理運営事業	簡易水道事業管理運営事業	単市	23,163	3,012	0.33	22,707	2,136	0.24	28,345	1,872	0.23	37,269	☆☆☆☆
06	飲料水供給施設管理運営事業	飲料水供給施設管理運営事業	単市	11,173	2,134	0.22	11,173	1,631	0.19	12,108	1,442	0.17	13,712	☆☆☆
07	簡易給水施設管理運営事業	簡易給水施設管理運営事業	単市	8,024	2,496	0.26	4,635	1,767	0.21	4,544	1,259	0.16	4,620	☆☆☆
この施策に費やした資源 (単位：千円, 人)			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度								
			573,067	127,555	15.52	644,429	114,809	14.05	1,089,183	85,817	10.63	772,494		

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		根拠法令・例規等	
事業開始年度		平成17年度(昭和38年度)		水道法	
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室)	上下水道課
	中項目 基本計画	05	安全に暮らせるまち		
	小項目 施策	14	安全でおいしい水の安定供給		
事務事業名		01	水源管理事業	合 職・氏名	水道施設係 杉本
				電 話	0869-66-9794
		このシート作成に要した時間			2.0 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	市内の上水道利用者
目 的 (何のために)	安全でおいしい水を常に安定的に供給するために、水資源を確保と浄水場等の水源施設の維持管理を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	取水、浄水、送水施設等を適切に管理し、効率的な運転管理を行うことによって維持管理コストを低減する。

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度
	水源施設維持管理事業	常に安定した安全な飲料水を供給するために、取水・浄水・送水施設の効率的な維持管理を行う		◎
	水源保護審議会運営業務	水質を保護するとともに、きれいな水を市民が享受する権利を守るため審議会を開催する		○
	岡山県広域水道企業団運営経費等負担金	岡山県広域水道企業団運営の負担金		○
	吉井川坂根堰管理負担金	吉井川坂根堰管理の負担金		○
	吉井川坂根堰利水者協議会会費	吉井川坂根堰利水者協議会への会費		○
	吉井川下流水利用連絡協議会会費	吉井川下流水利用連絡協議会への会費		○
	八塔寺川ダム管理費等負担金	八塔寺川ダム管理費の負担金		○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	72,493	75,697	104,035
	必要人員	人	1.51人	1.72人	1.64人
	事業費	千円	14,765	16,242	14,965
財源	国 県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担				
	繰 入 金				
	市 債				
	そ の 他 (料 金 収 入)		87,258	91,939	119,000
一 般 財 源					
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	説明	水1m ³ に対する動力費(坂根・長船・吉永水源)		
	対前年比	%	6,281,141	6,201,278	5,893,012
	活動コスト	円	50,380,066	48,333,412	49,535,548
	単当たりコスト	円	8	8	8

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
夜間時間の電力使用率(%)	成果指標名	目標値(A)	46	50	58	60.8
		実績値(B)	45.6	55.5	60.5	到達目標値
		達成率(B/A)	99.13%	111.00%	104.31%	62
成果指標設定の考え方・式や説明						
夏季の電力使用のピーク時間を避けて他の時間帯で運転することにより、ピーク電力を低減することで電力料金の削減を図ります。また、夜間の時間帯にピークシフトすることで安価な夜間料金により電力量料金・CO ₂ 排出量も削減することが可能となります。(夜間電力量/使用電力量)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い 高い低い
		<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い 高い低い
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い 高い低い
		<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	B
		<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	
		<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	B
		<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を維持する余地がある	
		<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	B
		<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	
		<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである	B
		<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	
		<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	B
		<input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	

進行年度(H27年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
説明	水道水源の確保は引き続き重要な課題であります。また、浄水場の維持管理に配慮しながら施設の効率的な運転に努めていきます。														

総合評価				
水質基準に適合した安全な水道水を市民に供給するためには、安定的な水源の管理が必要です。また、浄水場の維持管理は水道水の安定性・安全性を左右するものであるため、適切かつ効率的・合理的に行う必要があります。	<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td>A B C D E 高や普通や低い 高い低い</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </table>	総合評価	A B C D E 高や普通や低い 高い低い	B
総合評価				
A B C D E 高や普通や低い 高い低い				
B				

平成28年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
取組目標	水道水源の確保については今後も重要な課題であります。また、浄水場の維持管理に配慮しながら引き続き効率的な運転管理に努めていきます。														

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	平成17年3月(昭和38年)	根拠法令・例規等	水道法、備前市水道事業給水条例、同施行規則
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室)	上下水道課
	中項目 基本計画	05	安全に暮らせるまち	合 職・氏名	水道工務係長・笠原 聖司
	小項目 施策	14	安全でおいしい水の安定供給	先 電 話	0869-66-9793
事務事業名		02	上下水道管理運営事業	このシート作成に要した時間 3.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内の上水道利用者	
目的(何のために)	安全で安心な水道水を安定的に供給するため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	管路、浄水施設を計画的に更新・維持管理することにより、有収率の向上、安全な水質の確保や適正な料金収入が図れる。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名			
	水道施設維持管理運営事業	安全で安心な水道水を安定的に供給するために、浄水場、導水施設、送水施設、配水施設、導水管、送水管、配水管の維持管理を行う。		◎
	水道施設建設事業	安全で安心な水道水を安定的に供給するために、浄水場、導水施設、送水施設、配水施設、導水管、送水管、配水管の建設を行う。		○
	水道施設改良事業	安全で安心な水道水を安定的に供給するために、耐震化対応や老朽化して機能を果たせなくなった浄水場、導水施設、送水施設、配水施設、導水管、送水管の改良や更新。		○
	水道事業計画事業	効率的に水道事業を進めていくため、現在の施設の統廃合を含めた将来の計画を行う。		○
	企業債管理事業	料金収入は年度ごとの事業費と連動させることは困難なので、不足分については、起債の借り入れを行い、水道事業の財政基盤を安定させる。		○
	水道事業審議会運営事務	上下水道事業において、適正な料金等を設定するための審議会を開催し、運営を行う。		○
	日本水道協会会費	水道の技術研修や設備の検査業務を行っている日本水道協会への会費		○
	日本水道協会中国四国地方支部会費	中国四国地方において技術講習会や事例研修を行っている日本水道協会中国四国地方支部への会費		○
	日本水道協会岡山県支部会費	岡山県において技術講習会や災害応援訓練を行っている日本水道協会岡山県支部への会費		○

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

決算額	事業費等	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	千円	661,574	494,264	881,992
	必要人員	人	9.57人	7.91人	7.12人
	事業費	千円	77,364	61,134	54,540
	事業費	千円	738,938	555,398	936,532
	国県支出金	千円			
	受益者負担金	千円	688,938	455,398	636,532
	繰入金	千円	50,000	100,000	300,000
	市債	千円			
	その他(一般財源)	千円			
受益者負担比率	%	93.2%	82.0%	68.0%	
結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	有収水量	説明	料金収入の対象となった水量		
	結果指標量	m ³	5,407,799	5,223,187	4,977,194
	対前年比	%	97.5%	96.6%	95.3%
	活動コスト(資本費・減価償却費+支払利息)	円	346,184,056	345,251,925	353,693,746
単位当たりコスト	円	64	66	71	

(平成26年度事業)

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
成果指標名	有収率	目標値(A)	95.00	95.00	95.00	95
		実績値(B)	86.04	84.23	84.46	到達目標値
		達成率(B/A)	90.57%	88.66%	88.90%	95
成果指標設定の考え方・式や説明						
有収率とは有収水量を給水量で除したもので、供給した配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合です。有収率が上がるということは、漏水などの無効水量が減り、水道水の供給が効率よく行われているということです。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い 通や高い 高い 低い
		<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 ABCDE 高や普通や低い 通や高い 高い 低い
市民ニーズ	コスト 手 段	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 ABCDE 高や普通や低い 通や高い 高い 低い
		<input type="checkbox"/> 市民参画度		B

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
説明	ポンプ施設等について計画的にメンテナンスを行い長寿命化を図っている。管路については、漏水事故が発生した場合には、迅速に修理を行っている。また漏水調査・水圧測定調査を行い維持管理に努めている。						

総合評価		総合評価
平成26年度の有収率は若干増加しているが、施設の老朽化等による漏水の影響が考えられるため、継続的に施設の更新を進めていく必要がある。節水意識の高まりに伴い一般住宅の使用水量は減少傾向にあり、料金収入の増加のため有収水量の増加に向けた取り組みについては、難しい状況である。安易な料金改定をさせるためにも経営の効率化に努めなければならない。新たな需要を増やすためには人口の増加、企業誘致について、部署を横断して進めていくことが必要と考えられる。		総合評価 ABCDE 高や普通や低い 通や高い 高い 低い
		B

平成28年度の方向性・取組目標		Action					
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	計画的な施設の更新計画を進めると共に、長寿命化に向けての取り組み(漏水調査・施設点検等)を積極的に行っていく。						

備前市事務事業評価シート

事業の概要					
事業開始年度	平成17年度(昭和38年度)		根拠法令・例規等	水道法、公益事業法	
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	担当課(室)	上下水道課
	中項目 基本計画	05	安全に暮らせるまち	職・氏名	水道施設係長 杉本成彦
	小項目 施策	14	安全でおいしい水の安定供給	電 話	
事務事業名	03	水質管理事業		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	市内の上水道利用者	
目的(何のために)	常に水道水の水質基準に適合した、安全で良質な水を供給することが求められているため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水が停滞しやすい管路の末端でも、水道水の水質基準に適合した安全で安心な飲料水を供給を続ける。	

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するために実施した事業	水質管理事業	水質検査(原水・浄水基準項目) 13ヶ所 年1回	◎
		水質検査(浄水省略不可項目) 13ヶ所 年3回	◎
		水質検査(原水・浄水簡易項目) 13ヶ所 年8回	○
		水質検査(水質管理目標設定項目) 4ヶ所 年1回	○
		水質検査(原水指標菌) 6ヶ所 年4回	○
		水質検査(毎日検査) 5ヶ所	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	6,282	6,194	5,720
	必要人員(人)	人	0.31	0.18	0.24
	事業費	千円	9,375	7,928	8,080
財源	国	千円			
	県	千円			
	市	千円			
	その他()	千円			
一般財源		9,375	7,928	8,080	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	説明	水質検査(原水・浄水基準項目)	13	13
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	1,995,100	2,109,261	2,035,082
	単当たりコスト	円	153,469	162,251	156,545

事業の成果					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
水質基準の適合率	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	100	100	100	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明					
定期的実施している水質検査の結果が水質基準に適合している割合。(適合件数/対象件数)					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	平成27年4月の水質基準の見直しに対応するため、水道水質検査方法の妥当性評価ガイドラインに基づき、前年度と同様に水質基準の適合率100%を維持するよう努めて行きます。						

総合評価		
水道の水質管理とは、基本的には全ての蛇口から出る水道水を、常に衛生的に安全かつ清浄な状態に保ち、快適に利用できるようにすることです。また、水道水の水質基準の改訂による厳しい基準に対応するため、水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)認定水質検査機関と連携しながら管理技術の向上に努めている。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	A

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	前年度に引き続き、水道水が安全で良質であることの確認とその水が常に供給できるシステムを維持することにより、水質基準の適合率100%を維持するよう努めて行きます。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	平成17年3月（昭和38年）	根拠法令・例規等	水道法、備前市水道事業給水条例、同施行規則
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課（室）	上下水道課
	中項目 基本計画	05	安全に暮らせるまち	合 職・氏名	業務係長 山本 あゆみ
	小項目 施策	14	安全でおいしい水の安定供給	合 電 話	0969-66-9792
事務事業名		04	水道料金賦課徴収事業	このシート作成に要した時間 2.5 時間	

事業の目的		事業の意図する成果（どのようない状態にしたいのか）	Plan	
対象（誰・何に対して）	水道を利用されているお客様（H26 給水戸数15,768戸、給水人口36,383人）			
目的（何のために）	水道の安定供給を維持するための健全経営に資することを目的とし、その手段として適正に料金を賦課し徴収することで給水の適正を保持する。			
事業の意図する成果		検針結果に基づき、適正に賦課された水道料金を100%納付していただく。		

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	水道事業賦課徴収事業	水道の開栓・閉栓の受付に伴う手数料の賦課徴収を行います。	○	
		給水戸数15,768戸に対して、2ヶ月ごとに量水器の使用水量検針結果に基づき、φ13からφ100の口径ごとに適正な賦課を行っています。	◎	
		計量法で定められている量水器の使用期限である8年が経過しないうちに、各戸の量水器を新しいものに随時交換し、適正な検針結果の精度を保っています。	○	
		検針結果の向上のため、口座振替の推進を進めるとともに、臨戸徴収や電話催告を積極的に行い、悪質滞納者には停水措置を講じています。	◎	

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	千円		29,030	29,787	52,439
	必要人員	人		4.07人	3.63人	1.07人
	事業費	千円		31,495	30,898	9,380
	国 県 支 出 金	千円		60,525	60,685	61,819
	受 益 者 負 担	千円		48,048	48,304	49,516
財 源	千円					
繰 入 金						
市 債						
その他（			12,477	12,381	12,303	
一 般 財 源						
受 益 者 負 担 比 率	%		79.4%	79.6%	80.1%	

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量	件数	102,461	102,037	102,408
	対前年比	%		99.6%	100.4%
	活動コスト	円	60,525,000	60,685,000	61,819,000
	単位当たりコスト	円	591	595	604

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

（平成26年度事業）

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
成果指標名	目標値（A）		98.85	98.85	98.85	98.9
	実績値（B）		98.55	98.1	98.79	到達目標値
	達成率（B/A）		99.70%	99.24%	99.94%	99.0（H27）
成果指標設定の考え方・式や説明						
（算式） $\text{達成率} = \frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$ この事務事業においては、現年収納率を向上させ、未収金を減少させることが健全経営に繋がることから、収納率を成果指標にしています。（過年の収納率の目標値は、H21年の85.06→H26年で88.00を行政改革プランで目標値にしましたが、25年度は88.19%に達しています）						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 高 低 A
		効率性の評価 コ ス ト <input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 高 低 C	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 高 低 B
		市民参画度		

事業の目的やその数値目標からある成果指標に留意しながら

進行年度（H27年度）の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		平成27年4月の水質基準の見直しに対応するため、水道水質検査方法の妥当性評価ガイドラインに基づき、前年度と同様に水質基準の適合率100%を維持するよう努めていきます。							

総合評価		総合評価	A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 高 低 B
------	--	------	--

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標		1 検針業務の民間委託を推進する。 2 民間委託と合わせ事務の効率を上げ、お客様サービスの向上を図る。 3 給水停止の執行について一定の基準に基づいた取り組みを実施する。							

Action

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	昭和58年度	根拠法令・例規等	水道法、備前市簡易水道事業設置条例、備前市飲料水供給施設設置条例	
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室)	上下水道課	
	中項目 基本計画	05	安全に暮らせるまち		合 職・氏名	水道施設係長 杉本成彦
	小項目 施策	14	安全でおいしい水の安定供給		先 電 話	0869-66-9794
事務事業名		05	簡易水道管理運営事業	このシート作成に要した時間		2.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内の簡易水道及び飲料水供給施設利用者(高田、三国東部、飯掛、大股、寺山地区)	
目的(何のために)	対象地区に安全でおいしい水を常に安定供給をする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安全安心な飲料水を効率的に供給することによりコストの削減を行う。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
簡易水道事業管理運営事業	水質検査及び施設の点検と非常時の速やかな対応により安全な飲料水の供給を行う。	◎	
目的を達成するために実施した事業			

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	
決算額	事業費	千円	23,163	22,707	28,345	
	必要人員(人) 件費	千円	0.33人 3,012	0.25人 2,217	0.23人 1,872	
	事業費	千円	26,175	24,924	30,217	
財源	国 県 支 出 金	千円				
	受 益 者 負 担	千円				
	繰 入 金	千円				
	市 債	千円				
	そ の 他 (料 金 収 入)	千円	4,877	4,723	4,112	
一 般 財 源	千円	21,298	20,201	26,105		
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	
結果指標	結果指標量	説明	事業費/給水戸数	192	190	191
	対前年比	%	-	99.0%	100.5%	
	活動コスト	円	26,175,000	24,924,000	30,217,000	
	単位当たりコスト	円	136,328	131,179	158,204	

事業の成果 (平成26年度事業)					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
事業費に対する料金収入の割合	目標値(A)	17	18	18	19
	実績値(B)	16.2	18.9	13.6	到達目標値
	達成率(B/A)	95.29%	105.00%	75.56%	20
成果指標設定の考え方・式や説明					
飲料水の水質及び供給量を維持しつつ、供給コストを削減を図る。(料金収入/総事業費)					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度		B

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	前年と同様にコスト削減に配慮しながら、安全な飲料水の安定供給に努めていきます。また、高田・三国東部簡易水道については上水道への統合を進めていきます。						

総合評価		総合評価	B
安全な飲料水の供給は地域住民の生活と健康に欠かすことができないものであるため、維持管理コストの削減を図りながら安定給水を努めている。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	高田・三国東部簡易水道は平成28年度から上水道に統合となりますが、その他の地域については現在の給水エリアを確保しながら維持管理コストの削減に努めていきます。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

事業の概要					
事業開始年度	昭和62年度		根拠法令・例規等	備前市飲料水供給施設設置条例	
総合計画	大項目 基本目標	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室)	上下水道課
	中項目 基本施策	05	安全に暮らせるまち	合 職・氏名	水道工務係長・笠原 聖司
	小項目 施策	14	安全でおいしい水の安定供給	電 話	0869-66-9793
事務事業名	06	飲料水供給施設管理運営事業		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		
対象 (誰・何に対して)	飲料水供給施設(鴻島)の水道利用者	
目的 (何のために)	安全で安心な水道水を安定的に供給するため。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	漏水等による無効水量を低減させる。	

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	飲料水供給施設管理運営事業	安全で安心な水道水を安定的に供給するために、施設の点検・修理などの維持管理を行う。	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	11,173	11,173	12,108
	必要人員(人)件費	千円	0.22人 2,134	0.19人 1,631	0.17人 1,442
	事業費	千円	13,307	12,804	13,550
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担		7,309	7,197	6,258
	繰入金				
	市債				
その他()					
一般財源			5,998	5,607	5,850
受益者負担比率		%	54.9%	56.2%	46.2%

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	有収水量	説明	料金収入の対象となった水量		
	結果指標量	m	8,536	9,584	9,383
	対前年比	%	89.0%	112.3%	97.9%
	活動コスト	円	13,307,000	12,804,000	13,550,000
単位当たりコスト	円	1,559	1,336	1,444	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
有収率	目標値(A)	59.0	59.0	55.0	55
	実績値(B)	28.8	26.9	22.7	到達目標値
	達成率(B/A)	48.81%	45.59%	41.29%	55
成果指標設定の考え方・式や説明					
有収率とは有収水量を給水量で除したもので、供給した配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合です。有収率が上がるということは、漏水などの無効水量が減り、水道水の供給が効率よく行われているということです。					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度		D

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
説明	送水量の監視を行い、漏水調査、漏水管路の修理等を都度行っているが、有収率の低下を止めるには至っていない。地元との連絡を密にして今後も漏水箇所の発見に努めていく。						

総合評価		
水道水は島民の生活には欠かすことの出来ないものである。引き続き水道水の安定給水図るために必要な事業である。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	道路部分の管路について、公道と私道の区別を明らかにして、維持管理の負担に関する対応を行う。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある効果指標に留意しな

Plan

Do

Check

A

D

D

B

Action

備前市事務事業評価シート

事業の概要			事業開始年度		昭和60年度頃		
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」			
	中項目	基本計画	05	安全に暮らせるまち			
	小項目	施策	14	安全でおいしい水の安定供給			
事務事業名			07	簡易給水施設管理運営事業			
根拠法令・例規等			備前市簡易給水施設及び給水に関する条例				
問			担当課(室)				上下水道課
合			職・氏名				水道施設係長 杉本成彦
先			電話				0869-66-9794
このシート作成に要した時間			2.0 時間				

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	市内の上水道利用者	
目的 (何のために)	安全でおいしい水を常に安定供給できるよう、水資源の確保と水源施設の維持管理を行う。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	取水、浄水、送水施設等を適切に管理し、効率的な送水を行うことによって維持管理コストを低減する。	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	簡易水道事業管理運営事業	水質検査及び施設の点検と非常時の速やかな対応により安全な飲料水の供給を行う。	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	8,024	4,635	4,544
	必要人員	人	0.26人	2,496	0.21人
	必要人員	人	2,496	0.21人	1,781
財源	事業費	千円	10,520	6,416	5,803
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他(料金収入)		1,709	1,753	1,726
	一般財源		8,811	4,663	4,077
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標	量	92	92	91
	対前年比	%	-	100.0%	98.9%
	活動コスト	円	10,520,000	6,416,000	5,803,000
	単位当たりコスト	円	114,348	69,739	63,769

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果						(平成26年度事業)
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
事業費に対する料金収入の割合	目標値(A)	20	20	20	20	
	実績値(B)	16.2	37.8	29.7	到達目標値	
	達成率(B/A)	81.00%	189.00%	148.50%	20	
成果指標設定の考え方・式や説明						
飲料水の水質及び供給量を維持しつつ、供給コストを縮減を図る。(料金収入/総事業費)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 市民参画度	B

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	前年と同様にコスト縮減に配慮しながら、安全な飲料水の安定供給に努めている。						

総合評価		B
安全な飲料水の供給は、地域住民の生活と健康に欠かすことができないものであり、コスト縮減に努めながら安定給水を継続している。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	現在の給水エリアを確保しながら、近接する施設の統廃合等も検討しつつ維持管理コストの縮減に努めてゆく。						

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな